

2019年10月

会員各位

第1次通信教育講座テキスト改訂のお知らせ

第29回第1次通信教育講座(2019年12月開講)よりテキストを全面改訂することとなりました。

現在、通信教育講座を受講中の方々、もしくは受験資格保有者の皆様に関しては、今後について別途郵送にてご案内させていただきます。

改訂については次頁のQ&Aをご参考にさせていただきます。

【新1次テキストの構成内容】

「第1分冊」	テクニカル分析の基礎と概要について学びます。 1. テクニカル分析とは 2. テクニカル分析の歴史 3. テクニカル分析に対する批判 4. チャートの種類と構成要素 5. トレンドとトレンドライン 6. 中長期パターン 7. 短期パターン
「第2分冊」	伝統的なテクニカル分析の手法を学びます。 8. ローソク足 9. ダウ理論 10. エリオット波動理論 11. ギャン理論 12. サイクル分析 13. ポイント・アンド・フィギュア 14. カギ足 15. 新値足 16. 一目均衡表 17. 相対株価
「第3分冊」	さまざまなテクニカル分析の手法を学びます。 18. 移動平均 19. バンド 20. オシレーター 21. 出来高指標 22. 市場趨勢指標 23. その他の指標
「第4分冊」	テクニカルアナリスト資格者としての基礎知識を学びます。 24. 主な投資対象と市場 25. 国内市場と海外市場 26. 市場間分析 27. 業種循環 28. 代表的な指標 29. 投資家心理 30. 市場心理 31. 行動ファイナンス 32. 伝達ショックと修正 33. 参入と手じまい 34. 投資スタイル 35. 時間枠 36. 金融商品取引法 37. 商品先物取引法 38. 日本証券業協会の規則 39. 不当景品及び不当表示防止法 40. 著作権法

質問 1	なぜテキストの改訂が行われたのですか？
答	<p>テクニカル分析は今日では様々な資産への投資に用いられ、日々新たな手法が開発され続けています。また人工知能、行動経済学等といった新たな分野でその分析手法の応用が期待されており、このような内容をテキストに取り入れていく必要があります。</p> <p>一方、投資対象市場に対する知識の向上、金融市場を取り巻く様々な法律・規則に関する基礎知識を取得することはテクニカルアナリスト資格保有者として重要であると考えています。</p> <p>そこで、今回の1次テキスト全面改訂ではIFTAのシラバスに沿った形でテキストの構成を再整理するとともに、テクニカルアナリスト資格保有者として知っておくべき分析手法と基礎知識の収録内容を大幅に増やしました。今後は2次テキストの改訂にも着手していく予定です。</p>
質問 2	旧テキストと新テキストの違いを具体的に教えてください。
答	<p>旧テキストでは第1次通信教育講座と第2次通信教育講座を通してテクニカル分析について体系的に学ぶことができるように、両テキストを通して目次を統一し基礎的項目と専門的項目を振り分けていました。また基礎的なファンダメンタルズの解説も併せて掲載していました。</p> <p>一方新テキストではIFTAの1次・2次資格のシラバスに沿った形で、新1次テキストと今後改訂する新2次テキストが作成されます。また新1次テキストではテクニカルアナリスト資格保有者としての基礎知識について第4分冊で触れるとともに、基礎的なファンダメンタルズの解説については割愛しています。</p>
質問 3	新テキストに興味があります。購入できますか？
答	<p>希望する会員には有償にて頒布いたします（合計4分冊で25,000円（税込））。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。</p> <p>MAIL : office@ntaa.or.jp</p> <p>※2020年の第2次通信教育講座受講生には新テキストを無料配布させていただきます。</p>

また各項目については頁ごとに要点を簡潔に説明し、より深い知識を自身で習得するために参考文献を新テキスト頁の下端部に載せております。

今後第2次資格試験についてもテキストの改訂が行われることとなりますが、改めてご連絡申し上げます。